

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)SG2物流センター新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市中央区田名字豊原3977番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年8月1日
敷地面積	22,518 m ²	作成者	JFEシビル(株)
建築面積	11,475 m ²	確認日	2017年9月1日
延床面積	45,344 m ²	確認者	JFEシビル(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
沿道沿いは緑地緩衝帯を設けて、高木緑地と調和する景観を形成できるように努めた。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	比較的ゆとりある階高(平均階高6.7m)、天井高(CH2.8m)とし、東面に執務スペースを設け執務環境に配慮した。	緑化計画(まちづくり条例)を満足する緑地面積を確保した。 道路、隣地に沿って多く緑地が配置できるように配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
主に消費エネルギーの大半を占める照明設備をLED化する事で大幅な消費量削減を達成した。	躯体と仕上材が容易に分別可能となるように配慮した。	敷地沿道沿いには、緑地を多く配置する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される